

JC Journal 2021

JCI Junior Chamber International Takatsuki
一般社団法人 高槻青年会議所

president
2021年度 理事長
木村 周平

P3-4
●2020年度の主な活動報告
●これまでの活動をご紹介します

P5-6
●2021年度理事紹介
●2021年度委員会紹介
●トピックス

P7-8
●2021年度の年間スケジュール
●これまでの活動をご紹介します
●新入会員募集

一般社団法人高槻青年会議所 2021年度スローガン

パラダイムシフト 解釈を変えミッションに生きる

「主体変容」

人は困難や問題が起こったとき何かのせいになくなります。周りと環境を変えようと思っても何も変わらない。まずは自分を変えることで、初めて周りも変わります。自ら変化に挑み、自らの行動を変えることで成長と成果を求め、共に歩んで参りましょう。

一般社団法人 高槻青年会議所 2021年度 理事長所信

Belief of the president

はじめに

青年会議所の最大の特性は年齢制限にあると考えます。20歳から40歳までの青年で組織は構成され、40歳を超えると現役を退かなくてはなりません。限られた時間だからこそ、単年度制度が設けられ、全ての任期は1年に限られると考えます。

1949年、明るい豊かな社会の実現を理想とし、日本の運動は始まりました。まちづくり団体として、より良い社会を目指し社会貢献することを目的に組織された団体であります。会員が1年ごとに様々な役職を経験する中で豊富な実践経験を積み、その自己修練の成果を個々の活動に活かす、といった特性を持った団体は他に例を見ません。だからこそ私は、会員自身が個の成長・個の豊かさを追求していくこそが、青年会議所活動の意義であると考えます。

事実のひとつ 解釈は無数にある

新型コロナウイルスを起因とするパンデミックは、人類のあらゆる尊厳を脅かし、世界規模で社会的、経済的、そして政治的危機を引き起こしながら、依然として私たちの生活に甚大な影響を与えています。高槻青年会議所もまた、その活動に大きな影響を受け、2020年度は年当初予定していた多くの事業実施が叶わず、会員への機会の提供減は免れませんでした。

私たちにコントロールできること、コントロールできないことがあります。今はコントロールできることに集中するかが問われています。コントロールできないことには適応していくしかない。このコロナ禍をネガティブに捉えるのではなく、この状況下からこそ新たな発展のチャンスを見つけること。つまり、見方、考え方を変え「パラダイムシフト」することが大切です。

コロナ禍で発生した事実は変えられませんが、その解釈は無数にあり、自分で変えられます。だからこそ、私たちはまちづくり団体として先頭に立ち、まちを想い、利他で物事を考える志を持つことが大切です。「進のために、何のために、なぜ運動を行うのか」というミッションに立ち返ることです。誰よりも誠実な態度でこの困難に向かい、今だからこそ得られる成長と成果を掴むよう取り組んで参ります。

個々の成長と一枚岩の組織づくり

理事役職の立候補者を増やしたい。自らの意思で高槻青年会議所の理事職に就き、自己成長を叶えたい。組織をより良いものにしてきたいと願い、主体的に動き、周りに働きかけ、実行していくメンバーを増やしたい。このようなメンバーが集う組織に私はワクワク感を抱き、魅力を感じます。いいチームにはその根幹に、互いを尊重する心、感謝の気持ちがあります。JC運動は1人でするものでも、チームでやります。人は一人では育ちません。人と競いあうことにエネルギーを使い、力を合わせてお互いに助けあっていくほうが人は育ち、組織は強くなります。会員個々が発信力、傾聴力、多様性を高めることで、チームで働く力を強め、自立した相互依存の関係性を持つ一枚岩の組織を構築して参ります。



青少年育成と共に家庭教育の支援

現在、日本の教育は日本の社会の中で生き抜くことを前提とされています。日本にとどまることなく世界化していかなければならないという危機感を持たない限り、教育レベルの世界の中での相対的な低下とともに、国民レベルの低下にもつながります。答えがある時代の教育から、答えのない時代の教育への変化が必要なのです。

また、少子高齢化や核家族化の進行に伴い、子どもを取り巻く環境は大きく変化し続けています。この変化により子どもだけでなく、大人自身も地域の中で様々な人に関わりたり触れ合ったりする機会が減少しています。それとともに、家庭が孤立化し、子育てを援助する大人や子育て・教育の相談相手が減少するなど、しつけや教育について不安を持つ親が増えてきています。

地域の中で、子育てや教育の支援ができる機会を提供していくことは重要なことであり、次世代を担う青少年が健やかに成長できるよう、子どもと大人の双方支援に努めて参ります。

ポストコロナ時代へ視座を変える

新型コロナウイルスによる環境変化に伴い、社会は大きく分けて3つのフェーズで進行します。まずは、緊急事態宣言発令の下、社会は「V」コロナフェーズに突入し、昨日までの日常が失われ、経済活動が急減速し、誰もが不安を抱きました。緊急事態宣言解除後は「W」コロナフェーズとして、今までの価値観が変容し、新しい生活様式を導入する中で経済活動が再開しました。

そして、今後ウチン開発や集団免疫獲得等により収束を迎えられた場合、待ち構えているフェーズは「ポストコロナ」です。ポストコロナ時代では、コロナ対策のために多くの企業がデジタル化を加速させることで、これまでの情報社会から、新たな「Society 5.0」の社会が早期に訪れます。我々、青年経済人が捉えるべき視点はこのポストコロナ時代を生き抜くための新たな価値観・行動により、経済を再成長させていくことです。

まずは数年先を見据え、調査研究を行うことで情報を共有し、新たな時代を生き抜くための知恵を学び続ける必要があります。

地域とのつながり

1966年に「明るい豊かな社会」の実現に向けて歩みを始めた高槻青年会議所は、2022年に創立55周年を迎えます。

また同年には、この高槻・島本の地で初めての開催となる近畿地区大会高槻大会が決定しました。近畿地区内にある94LOMの会員がここに集結する。高槻・島本のまちの魅力をPRするにあり絶好の機会でもあります。

この機会を最良のものにするためにも、行政や地域に多数存在する他団体、これまで高槻青年会議所を支えてくださった先輩諸兄姉との交流と連携を強化していくことが必要です。我々は2022年に向けて、地域とのさらなるつながりを求め、2021年度より近畿地区大会準備室を設置し、準備を進めて参ります。

地域と連携したまちづくり

公職選挙法による選挙権年齢の一部改正により、若年層がまちづくりに参画できる機会が創出されましたが、まだまだ若者世代（10～30代）の投票率が低いゆえに、民主主義のあるべき姿という観点から問題意識を持っています。1人ひとりが主権者となり国や地域に関わり、社会の意思決定に当事者意識と責任を持つ必要があります。

自然災害に見舞われやすい日本において、災害から生命・財産を守るためには、国や地方公共団体が行う「公助」、国民1人ひとりの自覚に根ざした「自助」の精神が重要なことはいまでもありません。その上で、我々がすべきことは行政や社会福祉協議会との連携を強化し、高齢者に偏りを見るボランティアの現状を改善し、我々同世代の住民にも参加を募った防災活動を行い、地域防災力を高めることが必要です。

SDGsにおいても同様で、明るい豊かな高槻・島本の実現に向けて、若者といわれる我々の同世代とともに地域の課題と向き合い、対応していかなければまちの未来はありません。我々が展開する運動にSDGsが掲げる17個のゴール目標を設定し、2021年度もSDGs運動を推進して参ります。

対外へ向けた発信力の強化と仕組みづくり

我々が運動展開する高槻・島本の地で、これまで展開してきた地域運動がどれだけの人々に伝わっているのでしょうか。

2020年度の運動を検証すると、魅力ある事業や、コロナウイルス対策支援事業、九州豪雨災害への支援物資事業など、誰のために、何のために、なぜ事業運動を行うのかというミッションが確立しているものの伝播力は凄まじい勢いをもちます。

このような運動の積み重ねと事前事後の広報発信の積み重ねが我々の存在意義を高めることから、運動・情報発信の仕組みづくりに努めて参ります。

会員拡大について

青年会議所は女性活躍社会の実現を謳いながら、女性会員が極端に少ない現状があり、高槻青年会議所も例外ではありません。また、次世代の地域の担い手を育成する学び舎であるにも関わらず、若年層会員が少ないという課題も持っています。

職種・人種・役職に囚われない幅広い人材が活躍できる青年会議所になっていくために、質的な環境整備を整えていくとともに女性会員、若年層会員の拡大に注力して参ります。

50周年から55周年に向けて

高槻青年会議所は2021年に創立54周年を迎えます。活力ある高槻・島本を今後も維持し、より明るい豊かなまちに変えていくためには、若い世代における定住促進への取り組みをさらに強化する必要があります。50周年に掲げた4つの軸、「共育」「地域リーダーの育成」「安心安全への取り組み」「魅力あるまちづくり」を継続して事業展開していく必要があります。この提言書があるように、単年度制でありながらも組織では年を跨いで運動していくことが大切です。高槻青年会議所の長きに渡る先輩諸兄姉が築きあげられた功績に感謝するとともに、未来を担う意志を強く示し、その歩みを進めて参ります。

おわりに

新型コロナウイルス感染拡大は社会全体に大きな変化をもたらしました。WIT Hコナ時代を生きて、我々は個々が新しい生活様式を実践するのみならず、今回得られた経験をもとに、新しい社会づくりに向けて必要とされています。

コロナウイルス収束後に到来するポストコロナ時代は、加速を進めたデジタル化の影響を受け、社会やビジネスの在り方、人々の価値観に至るまで変化を遂げていきます。

そうしたポストコロナ時代をしっかりと見据えてJC運動を展開していくことも、WIT Hコナ時代には求められます。だからこそ我々は、まちづくり団体として先頭に立ち、まちを想い、利他で物事を進め、誰のために、何のために、なぜ運動を行うのかというミッションに生き、力を合わせてお互いに助けあって、一枚岩の組織を構築して参りましょう。

これまでの活動をご紹介します

こいのぼりフェスタ1000

高槻青年会議所の卒業生が作り上げた「こいのぼりフェスタ1000」も例年多くの地元ボランティアの方に支えられ、2021年は30回目を迎えます。現在は「こいのぼりフェスタ推進協議会」に出席し、毎年2月頃からこいのぼりの修復作業やワイヤーチェック作業を行っています。

そして春を迎えいよいよこいのぼり掲揚！当日は自転車置き場整備や出店運営を、そして最終はこいのぼりの撤去まで、芥川の河川愛護と子供たちの健やかな成長を願い、お手伝いをさせていただいています。



高槻まつり・高槻ウェーブ

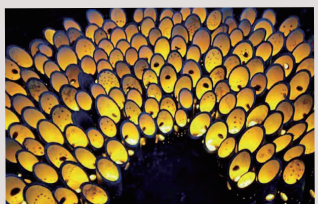
高槻の夏と言えば高槻まつり！例年約18万人が来場する高槻まつりの目玉イベントとなっている高槻ウェーブも実は高槻青年会議所の卒業生が作られたことをご存知ですか？毎年メンバーも参加させていただき、新入会員は、思い思いの仮装を行います。踊ること自体が初めてのメンバーも子供たちの笑顔のために、汗だくで頑張ります。また高槻まつり実行委員会に出席し、安心・安全な高槻まつりの運営のため、準備や片づけ等のお手伝いもさせていただいています。



七夕祭り～光でつなぐ絆～

高槻青年会議所の創立50周年記念事業として、「七夕祭り～光でつなぐ絆～」を開催。当初予定していた来場者数を大幅に超える約6,000名の方々に来場いただき、小学生の書いた願い事をつけたルミエ（光る風船）を飛ばすことや体験ブースなど、様々な催しをさせていただきました。

本事業を通じ、子供たちに地域コミュニティ内交流の減少に対し、地域とのつながりを密接に感じていただける事業となつたのではないかと考えております。



島本町マスコットキャラクター「みづまるくん」贈呈

高槻青年会議所の創立50周年記念事業の一環として、島本町マスコットキャラクター公募事業を行いました。「マスコットキャラクター公募説明会」を開催し、全国から公募。応募約165通の中から選考されたマスコットキャラクター「みづまるくん」が誕生し、2017年12月2日無事に贈呈を行い、いまま島本町の町民に愛される広告塔として活躍しています。



大阪府三島救命救急センター開設に向けて署名活動

大阪府三島救命救急センターの開設に、高槻青年会議所は署名活動を行いました。1971年、高槻市は救急医療体制の遅やかな整備が必要でした。そして、1974年に財団法人「高槻島本救急医療センター」が発足。高槻島本夜間休日応急診療所の運営を高槻市から委託され、1985年に重症患者を対象とした三次救急医療施設「大阪府三島救命救急センター」が開設。高槻島本夜間休日応急診療所と併せて全国で類をみない独立型救命救急センターが開設されました。



2020年度の主な活動報告

Activity report

例会・事業

高槻青年会議所初！大阪ブロック協議会 褒賞を受賞しました！

2020年12月5日大阪ブロック協議会が開催する大納会にて高槻青年会議所では初となる褒賞を受賞いたしました。本年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、当初計画していた運動が出来なくなるなど特別な1年になりました。その中でも、今だからこそやるべきことに取り組んできた結果、高槻・島本の地域をより良くしていきたいという想いを込めて構築した運動にたくさんの方にご参加・ご共感いただいたことで、このような受賞に繋がったと考えています。地域の方々のご協力のもと、これからも高槻・島本を盛り上げて参ります！



2020年10月11日(日)に「たかつき万博2020」を開催いたしました。今年は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、地域のイベントの多くが中止の判断を余儀なくされ、まちの賑わいや楽しみの機会が大きく失われてしまいました。高槻青年会議所として、高槻・島本の皆様が先の見えないこの状況下でも少しでも楽しみを見出しただけのようにと、当年開催ができなかった各地域団体様と協力開催させていただきました。当日は約12,000人もの方に足を運んでいただき、本当に感謝しありません。

私たちは、これから地域のためにどのようなことをすればいいかを考えて、それを実行していく団体としてあり続けたいと思っております。開催主催者として多くの方にご来場いただいたこと、メンバー一同本当に感謝申し上げます。またたかつき万博2020を開催するにあたって、数多くの企業・団体様にご協力いただきましたこと、心より御礼申し上げます。ありがとうございました。



2020年2月14日(金)に講師として、夢と希望を与える講演家「大嶋 啓氏」をお招きし、親や教育関係者に対し子供たちの可能性を伸ばすための考え方や姿勢、夢や目標に挑戦する子供たちを前向きに支える環境の構築についての講演を行っていただきました。子供を取り巻く大人たちの言動の在り方について学ばせていただきました。

コロナ関連の取り組み

「今できること」をテーマに活動を実施しました！

高槻市と島本町へマスク・消毒液寄贈

高槻市と島本町へ高槻青年会議所からマスク1万枚・次亜塩素酸水50ℓ・除菌スプレー50本を寄贈させていただきました。高槻青年会議所では、「今できること」をテーマに、行政と連携し、活動して参ります。まだまだ新型コロナウイルスとの関わりは続きますが、日本が一丸となって乗り越えられることを信じております。



施設・団体へ12,400枚のマスク寄贈

高槻・島本内に55箇所の回収ボックスを設置させていただき、高齢者・障がい者等福祉関係施設など23か所に12,400枚のマスクを配布させていただきました。必要とされている方々の元へ届いていただき、とても嬉しく思います。今後も多くの課題やニーズに目を向け、スピード感をもって様々な運動や活動を実施して参ります。



JCI Baliへマスク寄贈

高槻青年会議所の姉妹JCであるJCI Baliへマスクを寄贈するために、配送の準備から手続きを完了させて参りました。今年は新型コロナウイルス感染拡大に伴い、交流ができなかった状況が続くため、いつか交流ができる日でもっとも頑張っていくことを約束しました。



献血プロジェクト

COVID-19感染拡大防止支援事業として、献血バイン「いのちのPASSプロジェクト」を、高槻青年会議所として実施いたしました。今回の献血事業を通して、命の大切な献血の大切さを学ぶことができました。これからも献血に関する知識を深め、今後の活動に活かして参ります。



次亜塩素酸水の無料配布

高槻の「阪急富田駅前」・「阪急高槻市駅前」・「阪急上牧駅前」・「安海通公園広場」の4つのエリアで次亜塩素酸水の配布を行いました。非常に暑い中にも関わらず、多くの方に来場まで足を運んでいただき、とても嬉しく思います。この新型コロナウイルス感染拡大が続く中、まちの課題を常に考えながら様々な運動や活動を実施して参ります。



7月豪雨災害による支援物資の搬入

皆様よりご支援いただきました支援物資は、高槻青年会議所から大阪ブロック協議会を通して熊本ブロック協議会へ届けられました。実施にあたり、市民・町民の皆様と一緒に支援活動できたことを本当に誇りに思います。支援物資のご提供を頂いた皆様、お手伝いいただいた皆様、本当にありがとうございました。



2021年度、メンバー同決意を新たに青年会議所活動に精励いたす所存でございます。
何卒ご高承の上、一層のご指導を賜りますようお願いいたします。



第55代理事長

木村 周平
Kimura Shunpei
ソーニ生命保険(株)
営業所長



直前理事長

元木 弘教
Motoki Hironori
関ハンコ
専務取締役



顧問

皇南 澄
Koho Kiyoshi
大伸開発(株)
代表取締役



監事

中澤 和也
Nakazawa Kazuya
関Crow 測量設計事務所
代表取締役



外部監事

高木 祐樹
Takagi Yuki
関高木工業所
代表取締役社長

会員開発 委員会

青少年育成 委員会

指導力開発 委員会

地域交流 委員会

渉外交流発信 委員会

総務 委員会

財政局

委員長

足立 直人
Adachi Naoto
TSKハウジング(株)
営業所主任



目的や意義を基礎から学び、活動意欲を持って参加できる環境を構築

出会った全ての人の絆を深め、私自身が誰よりもJC運動を楽しみたいと思っています。
新入会員の受け入れを担う会員開発委員会では事業の目的や意義を基礎から学び、自然
と活動に意欲を持って参加してもらえる環境を構築して参ります。年齢や職種が違う
メンバー同士が出会い学ぶことで、互いの成長の機会を得ます。そして、明るく豊かなま
づくりの一員として同じ目的を持ち活動を続けることにやりがいを感じてもらえます。

委員長

難波 泰明
Nanba Yasuaki
明誠法律事務所
パートナー弁護士



個々のメンバーの能力を引き出し、高槻青年会議所の魅力を向上

仕事や年齢の垣根を超えてよりよいまちづくりや自己成長に取り組める、その過程を通じ
て仲間に出会えることが高槻青年会議所の何よりの魅力だと思います。指導力開発委員
会では、個々のメンバーの能力を引き出し、高槻青年会議所としても成長に繋がり、誇り
を持てるような例会・事業を構築し、高槻青年会議所の魅力を更に高めていきます。

委員長

高岡 映俊
Takagaka Eishun
関TOK
代表取締役



認知度向上と組織ブランディングを行い地域団体連携を深める

当委員会では、多数の方々との交流を深め、高槻青年会議所の活動を外へ発信することを
主に取り組んで参ります。高槻青年会議所の活動を迅速に発信し、認知度の向上にと
もに組織のブランディングを行い、地域の団体や企業との連携をより深めて参ります。
率先して物事に取り組み、地域のみなさんと各種団体とのつながりの大切さを認知し、高
槻青年会議所でも誰ひとり取り残さない運営を行って参ります。

局長

岸本 健
Kishimoto Ken
岸本木材店
マネージャー



より質が高く、参加者にとって有益な例会・事業の発信をサポート

財政局では各委員会の行う例会・事業の議案書内容を精査し、より質が高く参加する人
たちに有益となるような例会・事業を発信できるようにサポートを行います。
高槻青年会議所の活動を通じて、物事の考え方、組み立て方、進め方を学べ、同じ目的で
活動する仕事や年齢も全く違う様々な仲間と成長しあえ、自分の成長可能性を無限に
広げられる団体です。

理事会セクレタリー

佐藤 淳史
Satou Atsushi
代表

馬場口 祐
Babaguchi Tasuku
所長

藤田 浩和
Fujita Hirokazu
細中設備

向井 悠祐
Mukai Yusuke
(株)SAKURA
品質管理部部長

Topics

高槻青年会議所として3人目の功績!

日本青年会議所 委員長就任!!

日本全国691の青年会議所から集結する日本青年会議所の委員長に2020年度理事長の
元木弘教くんが就任いたしました。高槻青年会議所としては3人目となる功績です。



これまでの活動をご紹介

公開討論会

2017年、島本町の未来の町政を決める
島本町長選挙に際し、立候補予定による
公開討論会を開催いたしました。町民一人
ひとりがまちや地域の行く末を真剣に
考え、政治に関心を持つ機会に、そして
未来を託す人材を自らの意思で選択する
その一助となったと確信しています。
高槻青年会議所は、2021年に行われる
島本町長選挙に際し、その立候補予定者
による公開討論会を実施いたします。



わんぱく相撲

日本の伝統文化である相撲を通して、心身
の鍛錬と健康の増進を目的として1977年
に東京青年会議所から全国に広まり、現在
約4万人の小学生以上の参加する最大規模
の相撲大会です。
全国大会は東京の両国国技館で開催され、
大相撲と同じ土俵で取組が行われます。
地区大会となる高槻場所が、2021年に
第8回目を迎えます。



JCカップ U-11少女サッカー大会

JCカップは勝敗だけに拘らずお互いを認め
合い健闘し合える精神を養うことと、魅力
あるまちの発展をめざした日本青年会議所
の事業です。2018年、高槻青年会議所と
して初めて、地区大会となるJCカップ
高槻大会を開催させていただきました。2021年
は第4回目を迎えます。



2021年の年間スケジュール

Annual schedule

「主体変容」をテーマに活動を行います!

一般社団法人高槻青年会議所 2021年度スローガン

パラダイムシフト 解釈を変えミッションに生きる

【事業名】	【内容】	【担当委員会】
1月 新年互礼会	2021年度の方針発表	会員開発
社員総会	今年度理事・年間事業計画承認	総務
2月 2月例会・LDタイム	テーマ「高槻青年会議所のブランディング向上」	渉外交流発信
3月 3月例会・LDタイム	「島本町公開討論会」の実施	地域交流
3月事業	「子供と大人への双方支援教育事業」の実施	青少年育成
4月 4月例会・LDタイム	テーマ「Society5.0社会」	指導力開発
5月 こいのぼりフェスタ1000	部会への出向	会員開発
わんぱく相撲	「第8回 高槻場所」の実施	青少年育成
8LOM合同例会	副主管	財政局
6月 6月例会・LDタイム	テーマ「55周年・近畿地区大会」	渉外交流発信
JCカップU-11少女サッカー大会	「第4回 高槻大会」の実施	地域交流
7月 7月例会・LDタイム	テーマ「答えのない教育」	青少年育成
近畿地区大会彦根大会	ブース出店	会員開発
7月事業	「ポストコロナ時代を見据えた事業」の実施	指導力開発
8月 臨時社員総会	事業計画・予算修正および次年度理事承認	総務
9月 9月例会・LDタイム	テーマ「地域団体との交流・連携」	地域交流
大阪ブロック大会岸和田大会	ブース出店	渉外交流発信
10月 3LOM合同例会	副主管	指導力開発
11月 11月例会・LDタイム	テーマ「新入会員主体のLDタイム」	会員開発
12月 卒業式	昭和56年組の門出を祝う	総務
会員大会	1年の労を労う	財政局

一緒に活動しませんか?

新入会員募集!

高槻青年会議所の次代を担う 注目の新入会員からメッセージ!

奉仕



所谷 駿

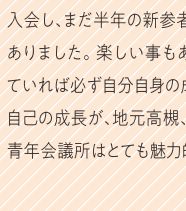
Tokorotani Shun

地域の知らなかったことを知り、 地域に貢献することの喜びと充実感

2020年4月入会

自分の成長が、地元の貢献になる とても魅力的な団体

2020年7月入会



向井 悠祐

Mukai Yusuke

迷うなら入会する事! 一緒にJCライフを楽しみましょう!

2020年2月入会



西田 卓矢

Nishida Takuya

JC活動を始めて約1年たった今、信頼し合える先輩や友達が増え たくさん増えました。先輩、友達が増える事によって学ぶ 機会も多くなり、自分の成長にも繋がりました!

20歳から40歳という限られた時間だからこそ、迷うなら
入会する事!一緒にJCライフを楽しみましょう!



JCの3信条

青年会議所は「奉仕」「修練」「友情」を3信条とし、
青年が自己啓発・修練を行い、培われた力を用いて
地域の奉仕を行うことを信条としています。
また会員全員が同じ「志」をもち、
切磋琢磨することにより友情が育まれます。

社会への **奉仕** 社会への奉仕は 人生最大の仕事である

個人の **修練** 地上最大の宝は 個々の人格にあり

世界との **友情** 友情は 国家主権に優先する



青年会議所は20歳から40歳までしか活動ができません。

今しかできない青年会議所活動で「未来に夢膨らむまち」を描き、一緒にまちづくりしませんか?

自らの可能性を試せる高槻青年会議所へ是非ご入会ください。



私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています



一般社団法人 高槻青年会議所 〒569-0078 大阪府高槻市大手町3番46号 高槻商工会議所内

TEL 072-675-9374

mail: info@takatsuki-jc.jp

受付/10:00~15:00 定休日/木曜・土曜・日曜・祝日

http://takatsuki-jc.jp

発行元/ 一般社団法人 高槻青年会議所 編集/ 渉外交流発信委員会

高青発第21-17号